

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊建設工業新聞

2015年(平成27年)

11月20日

金曜日

第18827号

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2015 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 URL:http://www.decn.co.jp/

約80人が参加

VSL協会、中部
地区初の技術講習会

VSL協会(田中茂義
会長)は13日、VSL永
久アンカー工法の技術講



習会を名古屋市中区の本
テル名古屋カーデンパレ
スで開催した。写真。中部

地区では初の開催で、約80人が参加。VSL工法の信頼性を維持しつつコストを縮減するSP(Single Pipe)型永久アンカーの技術について学んだ。岐阜大学工学部付属インフラマネジメント技術研究センターの沢田和秀教授による特別講演も行われた。

冒頭、田中会長は「VSL工法は約50年の歴史があり、中部地区でも土木・建築工事で実績を重ねている。グラウンドアンカーの定義や一般工法との違いなどさらに理解を深めてほしい」とあいさつ。

その後、防災・地すべり技術センターから技術審査証明を取得したSP型永久アンカーの技術説明が行われた。

VSL工法は、プレストレストコンクリート構造物のくさび定着工法の一つ。シース管内に通したPC鋼材をジャッキで緊張させ、くさびをアンカーヘッドに定着させることでコンクリートに圧縮応力を与える。SP型は、注入パイプ1本で内外のグラウトが可能。コルゲートシース内の径と削孔径の細径化を図ることでコストを縮減する。講習会は地盤工学会認証のCPDポイントの対象。